



■ 2020. 4. 7

2019年度看護課長・看護長合同研修会Ⅱでは【PDP(Problem-Discovery Process)】を実際に行ってみました。PDPは問題発見プロセスです。真の困りごとを見つけて、解決可能なアクションプランを導き出す手法です。

「困りごと整理シート」や「行動計画立案シート」に付箋を使って展開してみました。

看護管理者の役割はスタッフの力を最大限に引き出すことで、看護管理者に求められる職能は問題解決能力です。看護の現場では、常に複雑な状況下で困難な困りごとが発生しています。完璧に解決するのではなく「今より少しだけでも良くする、ちょこっとだけ困難な状況を乗り越える」ことを意識していく必要があります。その一助となる技法がPDPです。

課題に対してスタッフはどのように考えているのか、看護管理者はどうしたいか、という対話大切です。対話を通じて意見の行き来がなくなってしまうと共有できるものは見えてこないです。この演習から改めて対話の重要性を痛感しました。

多忙な現場の中で、この技法を常に使えるかという難しい面もありますが、真の困りごとを見つけ解決するとき、多くのスタッフで活用できたらいいなあと感じました。

さあ、明日からも患者さんのため、病院職員のために頑張ります。